

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療施設経営安定化対策費			担当部局庁	医政局		作成責任者				
事業開始年度	平成11年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	医療経営支援課		課長：佐藤 美幸				
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	医療施設をとりまく諸制度や環境の変化が医療施設経営に与える影響を調査研究し、その結果を医療施設等関係機関に情報提供することにより、医療施設の経営改善にかかる自助努力を支援し、もって医療施設の質の向上とともに健全な経営の安定化を図ることを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	医療施設経営に影響を与える諸制度や環境に関して、調査課題を設定した上で、民間シンクタンクの調査ノウハウ等を活用して調査研究するものである。										
実施方法	委託・請負										
予算額・ 執行額 (単位：百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	18	16	15	15	15				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		18	16	15	15	15				
	執行額		11	12	15	-		-			
	執行率 (%)		61%	75%	100%	-		-			
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		61%	75%	100%	-		-				
平成29・30年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	保健福祉調査委託費		15	15	-						
	計		15	15	-						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	医療施設等関係機関に情報提供することにより、医療施設の経営改善にかかる健全な経営の安定化を図る。		アンケートにより昨年度中に病院経営管理指標を利用したことがあると回答した病院の割合 (27年度度までは、医療法人等の赤字病院の割合を目標としていた)		成果実績	%	52.9	38.9	26.9	-	-
					目標値	%	35.2	52.9	-	-	前年度以上
達成度					%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	委託事業者からの報告データ										
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	平成28年度は「病院経営管理指標及び医療施設における経営実態に関する調査研究」、「海外における医療法人の実態に関する調査研究」の2つの調査研究について、それぞれアイテック株式会社、株式会社川原経営総合センターに委託。調査研究結果を周知するため、各都道府県に報告書を送付した件数を活動実績とした。				活動実績	冊	282	282	282	282	
					当初見込み	冊	282	282	282	282	
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位あたりコスト=X/Y				単位当たり コスト	円	8,775,000	8,005,000	7,627,000	7,627,000	
X:「医療経営安定化対策費」 Y:「テーマ数」				計算式	X/Y	17,550,000/2	16,010,000/2	15,254,000/2	15,254,000/2		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること									
		施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること									
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度		
			医療施設等関係者機関に情報提供することにより、医療施設の経営改善にかかる健全な経営の安定化を図る。	実績値	%	52.9	38.9	26.9	-	-		
			指標: 病院経営管理指標の利用割合 (27年度までは医療法人等の赤字病院の割合)	目標値	%	35.2	52.9	-	-	-	前年度以上	
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)							
		-	-	-	-							
					施策の進捗状況(実績)							
					-							
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
病院経営管理指標等の提供により、各病院が地域における自院の機能や経営上の各種課題に対して、客観的数値に基づいた実態把握や合理的・効率的な対処が可能となった。一方で、少子化の進展や診療報酬の切り下げにより経営環境は悪化し続けていることから、経営管理指標等の更なる活用により病院運営の効率化・安定化が必要となっている。												
経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-									
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-				
		(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-				
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-												

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医療施設の経営安定化は国民の生命にも関わる問題であり、広く国民のニーズがあるため、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	調査研究は全国各地にある医療機関が対象であり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	医療機関の経営状態の研究調査及び、日本再興戦略の柱として医療の国際貢献が挙げられていることからその支援策として海外の医療政策について研究調査したものであり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	総合評価落札方式を採用し、一者応札や一者応募もないため、妥当。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	コスト削減に努めており、水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	調査研究等に係る必要最小限なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	調査に関するアンケートの送付及び回収については、ホームページから行えるようにし、コスト削減や効率化を図った。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	医療法人等の経営状況を周知し、経営の安定化に関する意識を高めるため、活用した病院の割合を高めていくことが必要である。(備考欄参照)
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	人件費や会場賃借料を削減して低コストで行っている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みに見合ったものである。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	都道府県等に配布するとともに、ホームページへ掲載することにより、広く活用できるよう努めている。利用割合については今年度からアンケートを取り始めたため継続的に活用状況を把握していく。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	平成28年度事業においても経営管理指標を作成し、病院経営に関する様々な指標について各医療機関に周知し、自院の機能や経営上の各種課題を把握させることにより、経営の効率化等に寄与することができた。なお、指標等の調査研究報告書については各都道府県に配布し厚生労働省のホームページにも掲載している。	
	改善の方向性	医療機関の経営状況の把握や政策的に重要なテーマを調査研究し、ホームページ上で公開してきた。それらを医療コンサルティング会社や医療機関が活用することで、今後も調査研究が有益なものになるよう、また利用率が向上していくよう引き続き適正な予算執行に努めたい。	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	昨年度の外部有識者点検結果に基づき成果指標の見直しを行っており、一定の成果も上がっていることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	-		
備考			
昨年度までの成果指標は全国の赤字病院割合であった。しかし外部有識者の見直しの意見もあったことから、より本事業の実態を反映した成果指標として、今年度からは前年度の病院経営管理指標の利用の有無を調査対象病院から聞き取り、その利用割合を成果目標とした。			

